

高校コーディネーター(CN)による高校と地域の連携・協働推進事業

事業目的

- ・活力ある学校づくりを構築するため、100人・80人という一定の再編整備基準を定めて以来、高校の魅力化に関する研究事業に取り組んできたが、高校の魅力化のためには、高校と地域をつなぐCNの配置が最も効率的である。
- ・本県は、CNの配置数が全国と比較しても多く、強みと言えるが、関係機関等との有機的な連携・協働がより可能となるよう、CNの資質・能力の向上も必要である。
- ・高等学校設置基準が一部改正され、高校は、各校における教育活動その他の学校運営を行うにあたり、関係機関等との連携協力体制の整備に努めることとされた。
- ・本事業では、県教委の指定する高校にCNを派遣するだけでなく、県内の様々な自治体で雇用されている高校と地域をつなぐCNの関係構築を図るとともに、研修事業を展開し、県内全てのCNの資質向上を図ることを目的とする。
- ・事業終了後には、自治体が、地元の高校の魅力化が地域の活性化につながることを認識するとともに、CNを積極的に雇用し、高校に派遣することにつなげる。

事業概要

- ① 県内のCNのネットワークを構築
- ② CNや教職員、自治体関係者を一同に会してCN養成講座を実施（年間3回）
- ③ 市町村との関係が期待される県立高校8校に、学びの実践としてCNを各校一人配置【県直接雇用】
- ④ CNの実践内容・ノウハウ・失敗例等をデータベース化
- ⑤ CNの有用性を自治体に説明し、自治体でのCN雇用を促す
- ⑥ 本事業をより効果的・効率的に行うため、中間支援組織に下記①②④⑤を委託

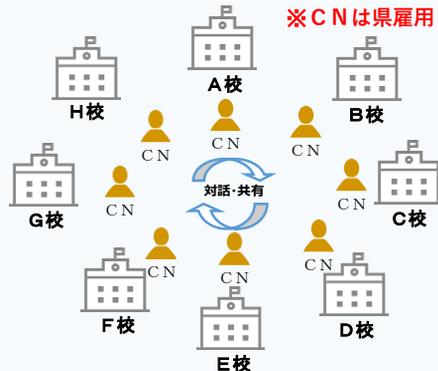
① CNのネットワーク構築



② コーディネーター養成講座



③ 県立高校8校のCNを育成



④ CNの役割、実践内容、活動のノウハウ等を整理

CNのネットワーク構築へのコーディネート機能

- ◆ CN同士の連携体制構築
- ◆ CN業務及び活動のノウハウについて共有
- ◆ 自治体や関係機関等との関係構築

CNの期待される役割



CN

高校におけるコーディネート機能

- ◆ 探究活動実践のため、市役所や商工会、JA等との連携や、支援企業探しを行う
- ◆ 年間指導計画の策定支援、実施体制構築

⑤ CNの有用性・必要性を自治体に説明 →自治体のCN雇用

めざすゴール

- ・県内コーディネーターにおける資質の向上及び人材の確保
- ・県立高校の特色化・魅力化に係る自治体や関係機関等との連携協力体制の構築
- ・高校と地域の関係性の深化、高校と地域が連携・協働した教育活動の継続性及び各地域の特色を活かした教育活動の実践力の伸長
- ・事業終了後は、各自治体が地元の高校の魅力化が地域の活性化につながることを認識及びコーディネーターの積極的な雇用